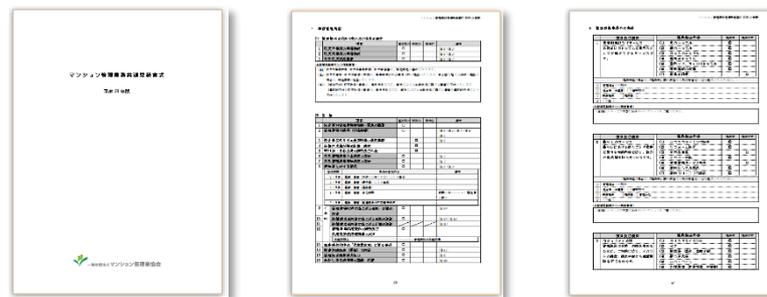


共通見積書式とは

管理会社が管理組合に管理委託業務に係る見積を提出する際に活用するための資料。

管理サービス・仕様を明確に提示することで、提供する業務内容等と価額の関係を、管理組合に理解いただくことを目的としている。



掲載場所: <http://www.kanrikyo.or.jp/format/kiyaku.html>

背景にある課題

業務の見える化

- 1 管理会社が提供する業務は幅広く、多岐に渡る
- 2 契約書に記載されていないサービスを提供している
- 3 業務の範囲や頻度がお客様には判断し難い

管理委託契約書では説明・表現しきれない部分、曖昧な部分を明確にする

作成の目的と効果

業界の発展

管理組合に向けて → サービス内容の可視化、サービスと価額の明確化 → サービス内容について理解を深める、他社との公平・公正な比較検討に活かす

管理会社に向けて → 明示したサービスを確実に履行する、管理組合からの過剰な要求を阻止する → より一層の信頼確保、適正なサービス提供

使用する場面(例)

1 受託契約の開始にともない説明する

契約の開始時に管理組合に対して管理サービスの説明をする際に、管理会社から提示する資料として

2 契約中に詳しい説明をする

管理内容及び見積金額の詳しい説明を求められた際に、管理サービスの仕様を十分ご理解いただくための資料として

3 契約中に他社との比較検討する

受託中の管理組合より「管理会社の見直し検討を行いたい」との申し入れがあった際に、公平・公正な比較検討を管理組合へ促すための資料として

4 新規受託に向けて説明する

他社管理マンションの管理組合より見積り依頼があった際に、自社の管理サービスの仕様を提示するための資料として

5 自社の標準仕様を検討・共有する

本書式をもって会社としての標準仕様を確認し、社内で共有することで、業務内容・サービス品質の均一化、あるいは見直しや施策立案に活用するための資料として